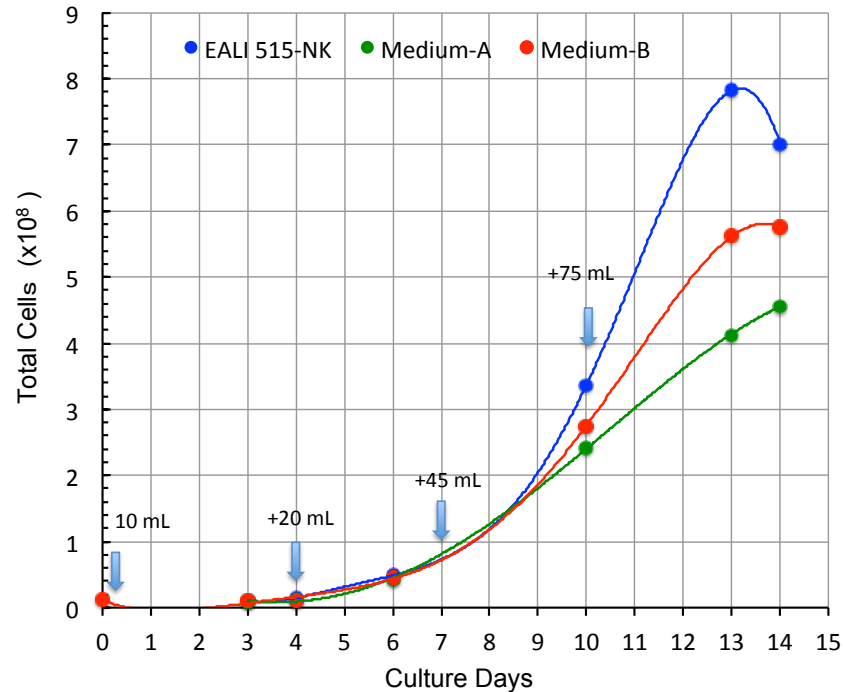


培養液3種類を用いたNK細胞培養の比較試験

試験項目

- ① NK 細胞増殖性能の比較
- ② フローサイトメトリーによるCD56, CD3, CD16陽性細胞の比較
- ③ 白血病細胞株K562に対する殺細胞活性の比較

培養液3種類の細胞増殖性能の比較



試験方法

1.18x10⁷ 個の末梢血単核球を抗Her2抗体を前処理したT-25 細胞培養フラスコに、10%の血漿を含む3種類の培養液それぞれ10mlで植え込んだ。各フラスコを5%炭酸ガスインキュベーターで新しい培養液を追加しながら14日間培養した。培養液の追加はグラフの中に矢印で示した。培養11日以降は150mlの培養液量で14日まで培養を継続した。

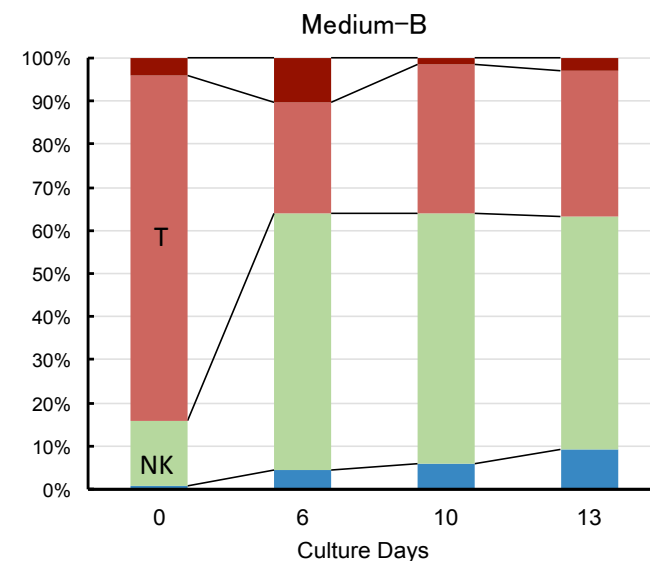
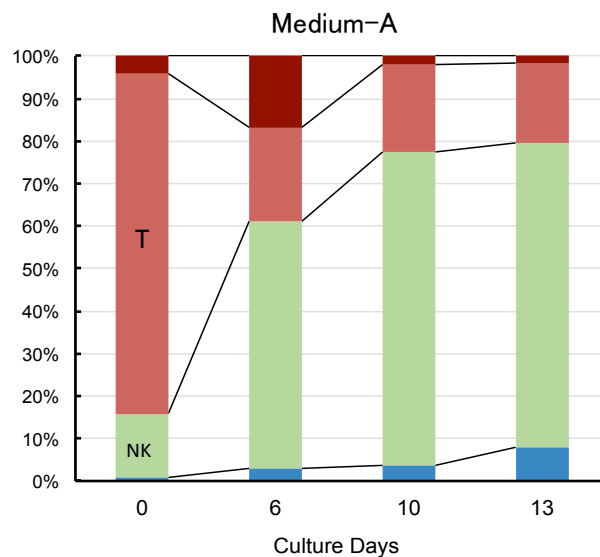
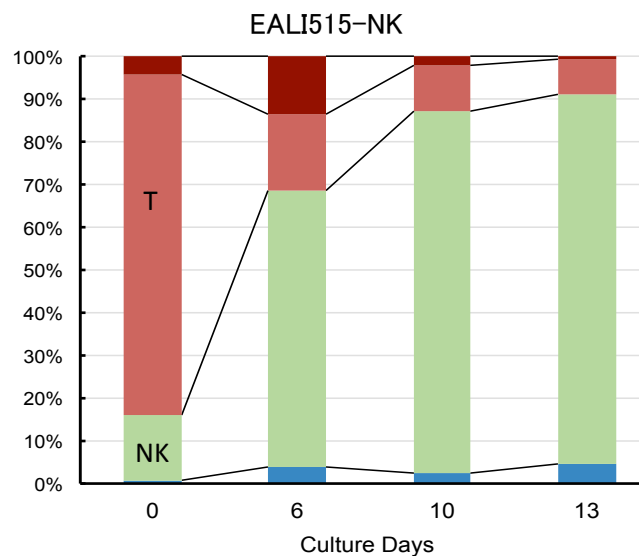
EALI 515-NKで培養した細胞は13日で総細胞数7.8x10⁸ 個になった。

*** 新培養液EALI 515-NK は市販培養液を大きく超える細胞増殖活性を示した。**

三種の培養液で培養した細胞の表面抗原分析

	培養13日での細胞の比率		
	EALI515-NK	Medium-A	Medium-B
CD56陽性	91.2%	79.7%	63.1%
CD56-,CD3陽性	8.2%	18.6%	33.9%

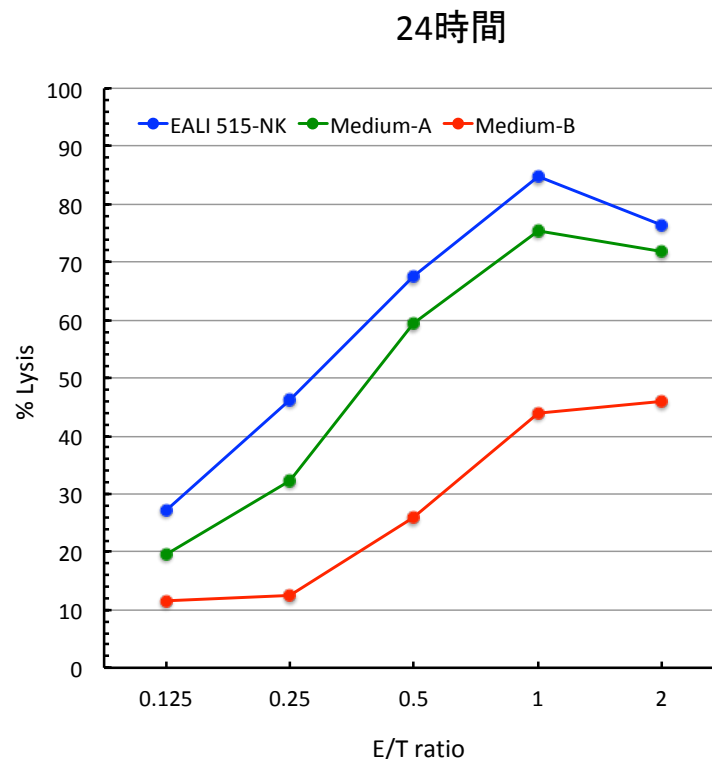
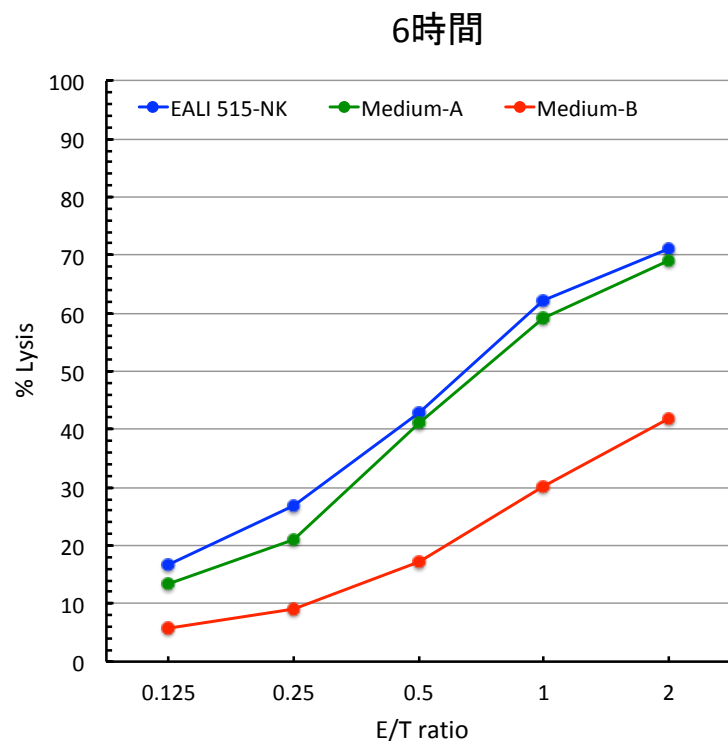
■ CD56+,CD3+
 ■ CD56+,CD3-
 ■ CD56-,CD3+
 ■ CD56-,CD3-



*** EALI 515-NKはNK細胞の選択的な増殖を支持した**

三種の培養液で培養した細胞の癌細胞殺傷活性の比較

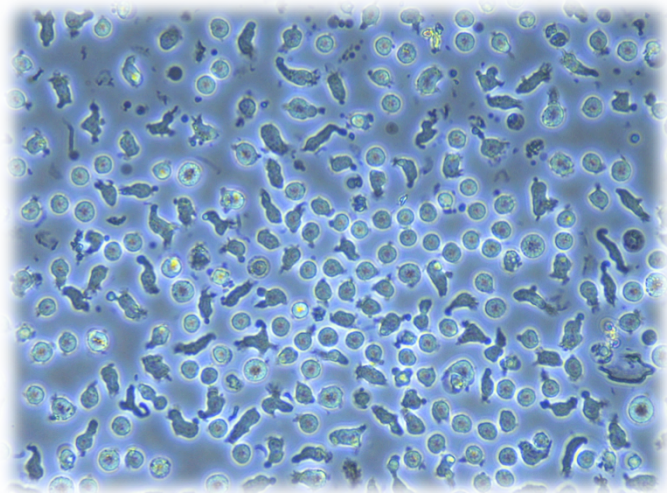
三種類の培養液で培養した細胞のNK活性を白血病細胞K562に対する殺傷活性として測定した。標的細胞として 10×10^4 個のK562細胞と三種類の培養細胞を図に示したE/T比で混合培養した。培養6時間と24時間後の細胞殺傷率（%Lysis）を傷害された標的細胞から遊離する乳酸脱水素酵素（LDH）の量を測定して算出した。



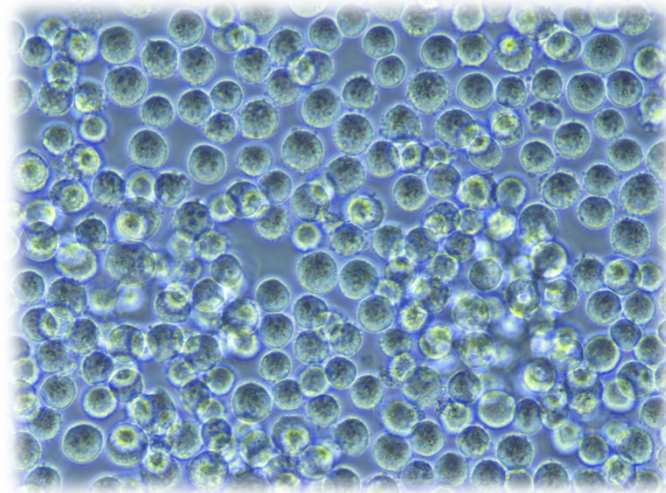
*** EALI 515-NK培地で培養した細胞は非常に強い癌細胞に対する殺傷活性を示した。**

NK細胞のガン細胞障害活性（写真）

CD56⁺/CD16⁺ NK細胞

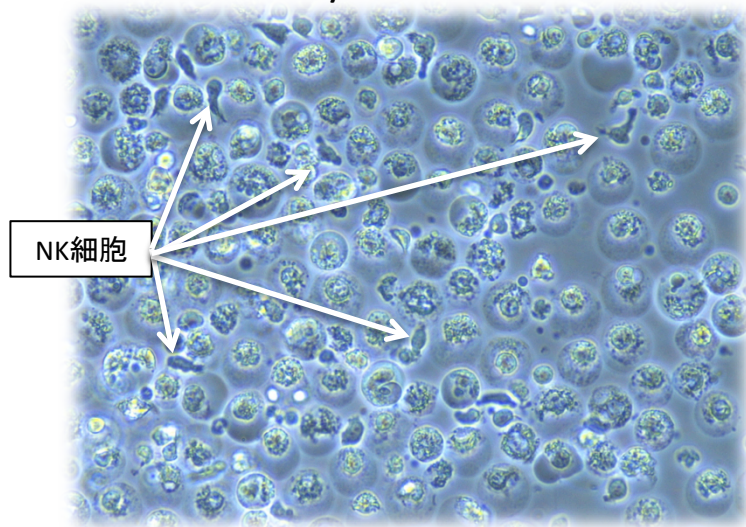


白血病細胞株 K562



+

E/T 比=0.5



E/T 比=0.2

24時間

